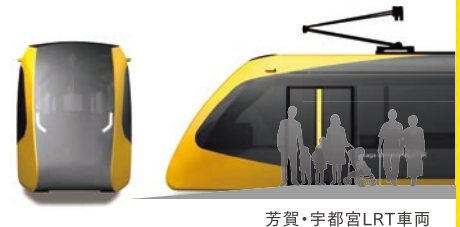


START, 2022 LRT.

100年先も安心して便利に暮らせるまちを目指して整備を進めているLRT事業。芳賀・宇都宮の恵みの象徴である「雷の稲光」をモチーフに、「雷」や「雷を受け豊かに実った稲」をイメージさせる黄色がシンボルカラーの「雷都」にぴったりな車両が、2022年、JR宇都宮駅東口-芳賀・高根沢工業団地間を走り出します。街が変わる、毎日が変わる。LRTからはじめる、次の暮らしにどうぞご期待ください。



芳賀・宇都宮LRT車両

LRT車両の製作に必要な「車両設計認可申請書」を提出！！

宇都宮市と芳賀町、LRTの運営を担う宇都宮ライトレール株式会社は、平成30年11月30日付でLRT車両の寸法や内装レイアウトなどを取りまとめた「車両設計認可申請書」を栃木県を通じて国に提出しました。今後、必要な審査を経て認可を取得した後に全17編成のLRT車両の製作に移り、2020年10月以降の順次の納入を目指していきます。

芳賀・宇都宮LRT車両の主な諸元

レール幅(軌間)	1,067ミリメートル(狭軌) ※将来的な既存鉄道への乗り入れを考慮	
電圧	750ボルト(直流)	
車両寸法	車両長	29.520メートル
	車両幅	2.650メートル
	車両高	3.625メートル (パンタグラフ折りたたみ時)
運転速度	時速40キロメートルまで	

※詳細は車両設計認可等を経て決定

ノーズ

- ・LRTの「L字型」をモチーフにした色使い
- ・流れるような先頭のかたちが特徴

レール

- ・軌道と呼ばれるレールの上を走る

運転席

- ・ワンマン運転を予定

架線

- ・動力源になる電気が流れている

パンタグラフ

- ・架線から電力を取り入れるための装置
- ・電気モーターで駆動するので環境に優しい



貫通幌

- ・連結した車両の間を覆う部分
- ・乗客の転落防止と風雨を防ぐため設けられている

窓

- ・外の景色を楽しめるよう大きな窓を採用

乗降口

- ・全ての扉で交通ICカードでの支払いが可能



手すり

車内モニター

※色彩等については検討中



※車椅子スペース、乗降口周辺等のデザインについては検討中

ロールカーテンのイメージ(宮染め)

車内の内装について

① 地域性の反映

ロールカーテンに宇都宮の伝統工芸である宮染めのイメージを表現するなど、沿線風土を感じさせる地域性を内装の一部に反映

② シンボルカラーの効果的な配色

LRT事業のデザインコンセプト「雷都を未来へ」のシンボルカラー「黄色」(雷の光)を効果的に配色

③ 車椅子スペースの設置

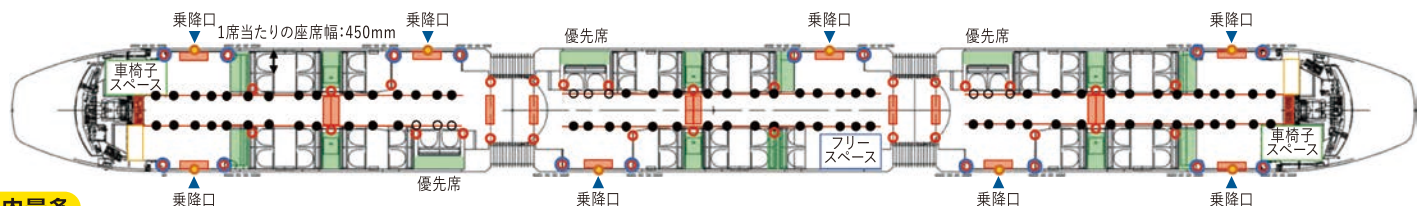
車椅子スペース(1,300×750mm)を1編成に2か所設置し、バリアフリー性を向上

④ 全扉へのICカードリーダーの設置

日本で初めてとなる全扉へのICカードリーダー設置で、利用者の利便性を向上

車内のレイアウト

□:座席 ■:荷物置スペース ○:縦手すり —:手すり(天井) ●:一般つり革 ○:低位つり革 ●:ドア開閉ボタン(車内外) ■:車内モニター ○:ICカードリーダー



国内最多

定員数160人、座席数50席の確保

- 定員数は車両長をできる限り延長させ、国内の低床式車両で最多となる「定員160人」を確保
- 座席数は鉄道の通勤電車並みに広い座席幅とした上で、可能な限りの座席数「50席」を確保

フリースペースの設置

- ベビーカーや大型荷物持ち込みの需要に対応するため、利用形態を限定しないフリースペースを中間車に設置
- フリースペースへの自転車の持ち込みについては、今後、宇都宮ライトレール株式会社と運用に関する検討を行い、必要に応じて自転車の固定設備等を整備